

国内自転車生産・輸出入状況（2019年1～3月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

2019年1～3月期の生産状況は、総生産台数が前年同期を僅かに下回ったものの総生産金額は前年同期を上回った。一方、2019年1～3月期の輸入状況については、前年同期に比べ総輸入台数、総輸入金額ともに減少し、総輸入台数は過去15年間で最低となった。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた2019年1～3月の国内向け数量も過去15年間で最低となっている。

2. 我が国の自転車生産

2-1 2019年1～3月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、2019年1～3月の我が国の完成自転車生産台数は256,264台、完成自転車生産金額は167億4,871万8千円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は0.6%減少し、総生産金額は4.5%増加した。また2019年1～3月の完成自転車生産平均単価は65,357円となっており、前年同期の62,165円から5.1%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 2019年1～3月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(千円)	平均単価(円)
2019年1～3月	256,264	16,748,718	65,357
2018年1～3月	257,826	16,027,649	62,165
変化	-1,562	721,069	3,193
変化%	-0.6%	4.5%	5.1%

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2019年1～3月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。

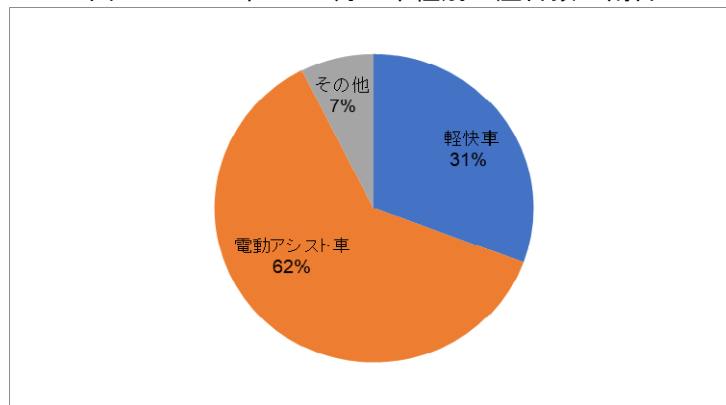
表2 車種別生産状況 2019年1～3月と2018年1～3月との比較

1～3月 車種	2019年		2018年		変化			
	台数	金額 (千円)	台数	金額 (千円)	台数	%	金額 (千円)	%
軽快車	78,625	2,488,955	79,023	2,527,145	-398	-0.5	-38,190	-1.5
電動アシスト車	158,472	13,858,347	161,463	13,110,852	-2,991	-1.9	747,495	5.7
その他	19,167	401,416	17,340	389,652	1,827	10.5	11,764	3.0
計	256,264	16,748,718	257,826	16,027,649	-1,562	-0.6	721,069	4.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に2019年1～3月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が62%を占め、次いで「軽快車」が31%を占めている。

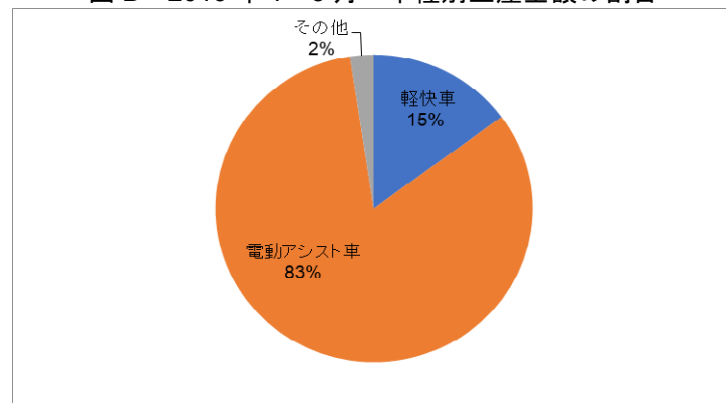
図A 2019年1～3月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に2019年1～3月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が83%を占めている。

図B 2019年1～3月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、2019年1～3月と2018年1～3月とを比較した表3を示す。「電動アシスト車」が上昇している一方で、「軽快車」と「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 2019年1～3月と2018年1～3月との比較

車種	2019年1～3月 生産平均単価(円)	2018年1～3月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	31,656	31,980	-324	-1.0
電動アシスト車	87,450	81,200	6,249	7.7
その他	20,943	22,471	-1,528	-6.8
計	65,357	62,165	3,193	5.1

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数が対前年同期比減少している一方で、生産金額は対前年同期比増加している。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 2019年と2018年との比較

	2019年			2018年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (千円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)			
1月	45,893	4,149,189	90,410	46,507	3,774,633	81,163	-614	374,556	9,247
2月	52,707	4,741,124	89,952	54,734	4,613,710	84,293	-2,027	127,414	5,659
3月	59,872	4,968,034	82,978	60,222	4,722,509	78,418	-350	245,525	4,559
1～3月	158,472	13,858,347	87,450	161,463	13,110,852	81,200	-2,991	747,495	6,249

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

2019年1～3月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
2019年1～3月と2018年1～3月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			3月末在庫 (台)
	台数	金額(千円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(千円)		
2019.1～3 軽快車	78,625	2,488,955	186,198	188,127	3,568,872	101,442	29,268
2018.1～3 軽快車	79,023	2,527,145	173,457	187,767	3,710,320	83,042	44,670
変化 %	-0.5	-1.5	7.3	0.2	-3.8	22.2	-34.5
2019.1～3 電動アシスト車	158,472	13,858,347	133,184	200,222	16,874,594	103,529	56,813
2018.1～3 電動アシスト車	161,463	13,110,852	131,172	190,985	15,557,685	102,326	47,792
変化 %	-1.9	5.7	1.5	4.8	8.5	1.2	18.9
2019.1～3 その他	19,167	401,416	71,401	77,807	1,636,740	4,296	61,968
2018.1～3 その他	17,340	389,652	71,041	75,012	1,814,421	4,195	47,530
変化 %	10.5	3.0	0.5	3.7	-9.8	2.4	30.4
2019.1～3 全車種計	256,264	16,748,718	390,783	466,156	22,080,206	209,267	148,049
2018.1～3 全車種計	257,826	16,027,649	375,670	453,764	21,082,426	189,563	139,992
変化 %	-0.6	4.5	4.0	2.7	4.7	10.4	5.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、2019年1～3月の全車種の「受入」台数は2018年1～3月の「受入」台数に比べ4.0%増加した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、2019年1～3月の全車種の「出荷・販売」台数は2018年1～3月のそれに比べ2.7%増加した。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は4.7%増加した。「電動アシスト車」が増加した一方で、「軽快車」と「その他」は減少している。

2019年1～3月の全車種の「出荷・その他」台数は、2018年1～3月のそれに比べ10.4%増加した。すべての車種で増加が示されている。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、2019年3月の全車種の「月末在庫」台数は148,049台で、前年同月と比べ5.8%増加した。

2-3 1～3月の生産状況の過去15年間の推移

表6に2005年から2019年まで過去15年間の毎年1～3月の我が国の自転車生産、出荷及び3月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～3月の自転車生産・出荷
及び3月末在庫の過去15年間の推移

1～3月	生産			出荷			3月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	
2019	256,264	16,748,718	65,357	466,156	22,080,206	47,367	148,049
2018	257,826	16,027,649	62,165	453,764	21,082,426	46,461	139,992
2017	248,119	14,296,354	57,619	482,364	19,359,039	40,134	132,961
2016	265,325	14,805	55,799	478,691	17,673	36,919	136,945
2015	249,855	12,157	48,656	462,299	15,813	34,205	135,542
2014	278,336	13,390	48,107	580,585	17,708	30,500	128,442
2013	264,751	11,572	43,709	565,284	15,672	27,724	204,761
2012	308,426	12,688	41,138	812,892	18,481	22,735	213,991
2011	283,461	11,345	40,023	890,844	19,097	21,437	143,353
2010	299,871	10,345	34,498	857,346	17,167	20,023	197,543
2009	302,897	9,138	30,169	887,807	16,529	18,618	201,479
2008	324,543	7,698	23,720	1,016,304	15,574	15,324	215,025
2007	338,671	7,117	21,014	1,069,225	14,114	13,200	214,321
2006	435,978	8,134	18,657	1,188,506	14,653	12,329	238,679
2005	633,812	10,486	16,544	1,483,615	17,298	11,659	348,746

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、

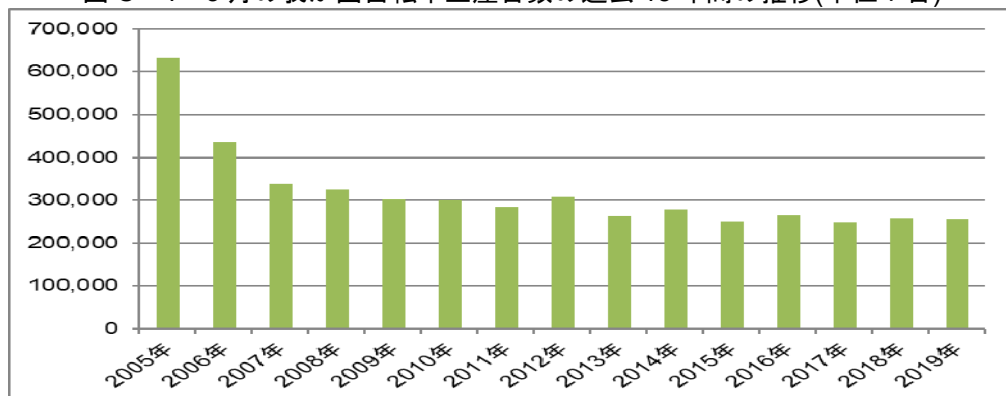
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

*2016年以前は百万円単位、2017年以降は千円単位

2019年1～3月の「生産台数」は、過去15年間で13番目となっている。一方、「生産金額」は過去15年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去15年間で最高である。また2019年1～3月の「出荷台数」は過去15年間で13番目、「出荷金額」は過去15年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去15年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が15年間一貫して高くなっている。「3月末在庫台数」は148,049台で、過去15年間で9番目となっている。

表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～3月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は低迷している。

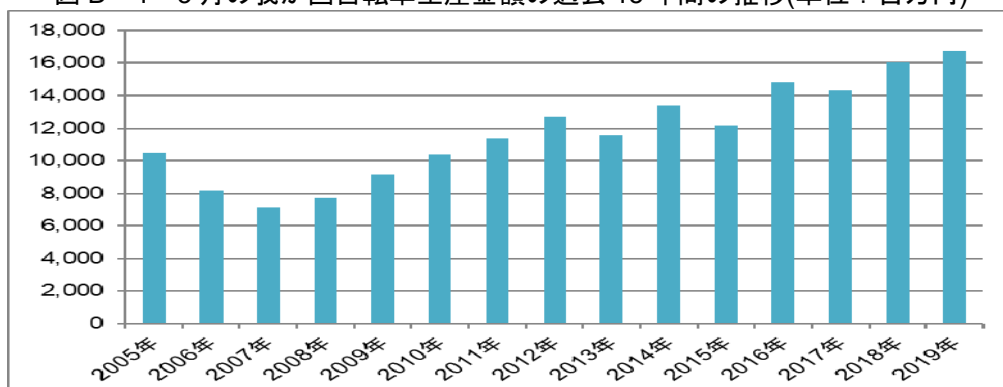
図C 1～3月の我が国自転車生産台数の過去15年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～3月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。

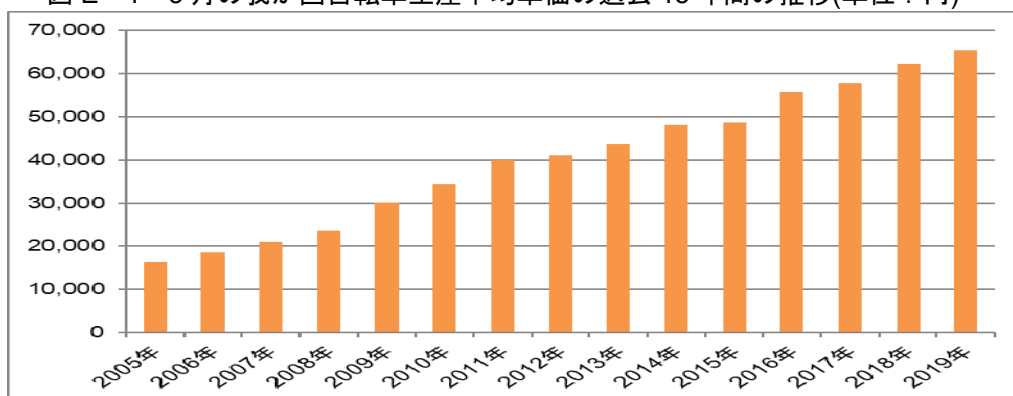
図 D 1～3月の我が国自転車生産金額の過去15年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～3月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にある。

図 E 1～3月の我が国自転車生産平均単価の過去15年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去15年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去15年間の推移（単位：台）

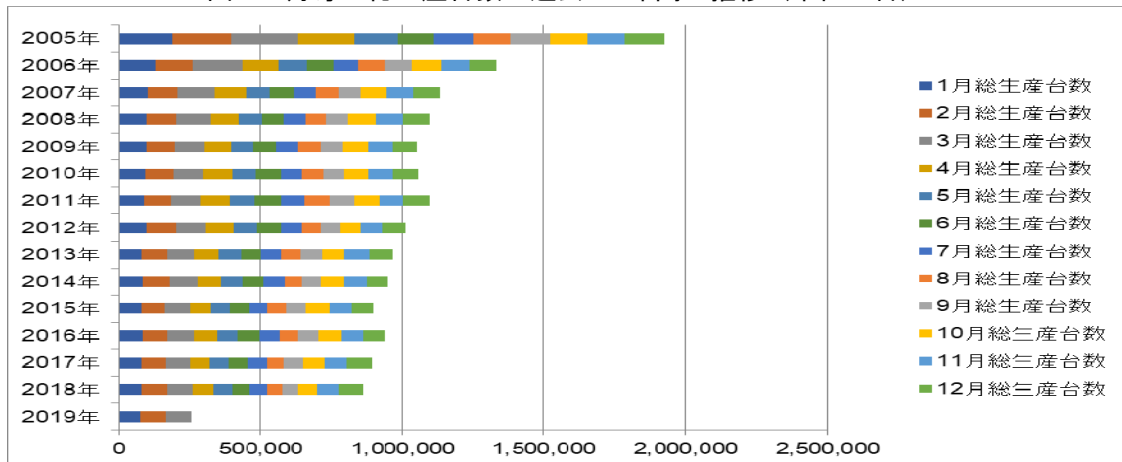
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
2019	76,039	91,061	89,164			
2018	78,463	93,312	86,051	76,370	65,715	63,702
2017	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	68,896
2016	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
2015	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
2014	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
2013	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
2012	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
2011	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
2010	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
2009	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
2008	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
2007	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
2006	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522
2005	186,677	207,574	239,561	197,996	151,547	129,232

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
2019							256,264
2018	58,056	53,849	59,194	66,085	77,433	83,025	861,255
2017	66,260	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,850
2016	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
2015	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
2014	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
2013	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
2012	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
2011	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
2010	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
2009	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
2008	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
2007	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
2006	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512
2005	138,579	130,081	138,979	135,527	132,069	138,614	1,926,436

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
2018年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図 F 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)



出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

更に 1~3 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移を表 8 に示す。

表 8 1~3 月の車種別生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)

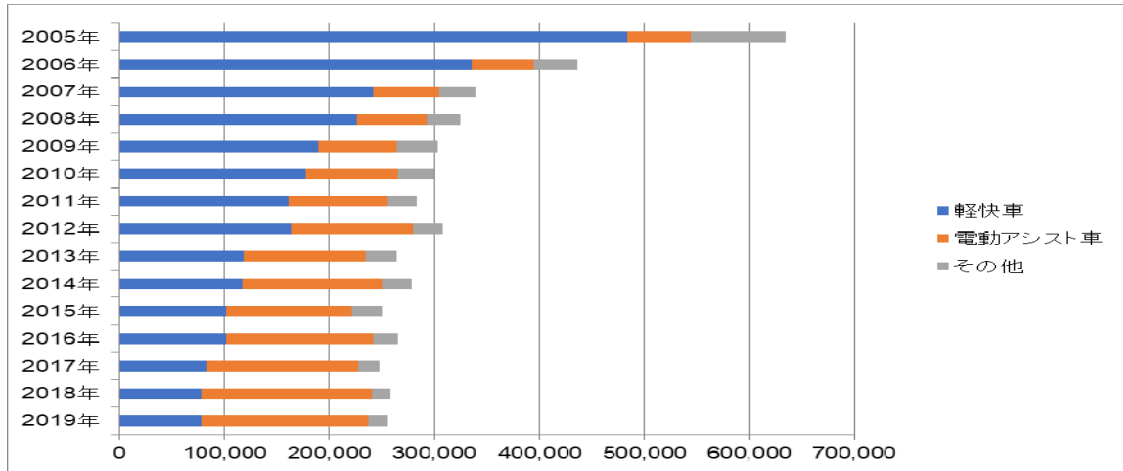
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2019	78,625	158,472	19,167	256,264
2018	79,023	161,463	17,340	257,826
2017	84,530	143,269	20,320	248,119
2016	101,751	140,426	23,148	265,325
2015	102,324	118,751	28,780	249,855
2014	116,929	132,842	28,565	278,336
2013	118,317	116,175	30,259	264,751
2012	163,515	116,341	28,570	308,426
2011	160,600	95,370	27,491	283,461
2010	178,147	87,177	34,547	299,871
2009	189,774	74,861	38,262	302,897
2008	226,210	66,077	32,256	324,543
2007	242,133	62,966	33,572	338,671
2006	335,501	59,170	41,307	435,978
2005	483,339	61,346	89,127	633,812

2011 年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。2005 年から 2010 年までの「その他」の数値は、これら 4 区分の合計数値。

出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 8 に示した 1~3 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 G である。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様子が示されている。

図 G 1～3月の車種別生産台数の過去15年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

表 9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 2019年1~3月の輸入状況の概要

表10は、2019年1~3月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は1,840,057台となり前年同期から5.2%減少した。一方、総CIF金額は210億7,553万2千円となり前年同期比9.8%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,454円となり前年同期比4.8%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、2019年1~3月の平均レートはUS1\$=JPY110.11であったのに対し、2018年1~3月の平均レートはUS1\$=JPY109.44(ともに税関長公示レートを参考にした)であった。

表10 2019年1~3月の我が国の自転車輸入 2018年1~3月との比較
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~3月	1,840,057	21,075,532	11,454
2018年1~3月	1,941,518	23,354,208	12,029
変化	-101,461	-2,278,676	-575
変化%	-5.2	-9.8	-4.8

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで2019年1~3月の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。台数・金額ともに前年同期比で大幅に増加している。

表10附表 参考 2019年1~3月の我が国の
「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入
2018年1~3月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~3月	83,382	3,284,995	39,397
2018年1~3月	68,868	2,644,791	38,404
変化	14,514	640,204	993
変化%	21.1	24.2	2.6

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 2019年1~3月の車種別輸入状況

表11は2019年1~3月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 2019 年 1～3 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	42,245	776,024	18,370
8712.00211 ミニサイクル	70,550	872,998	12,374
8712.00218 幼児車	84,077	620,469	7,380
8712.00219 子供車	359,298	3,366,519	9,370
8712.00291 軽快車	573,283	5,702,659	9,947
8712.00299 その他	710,604	9,736,863	13,702
計	1,840,057	21,075,532	11,454

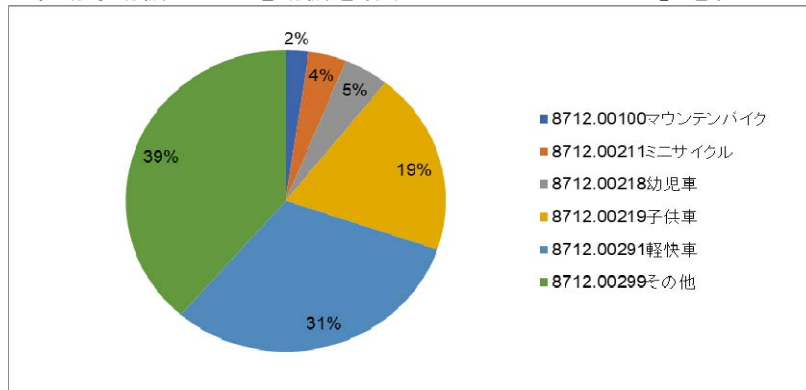
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	83,382	3,284,995	39,397
------------------------------------	--------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 18,370 円と「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,947 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 13,702 円である。

表 1 1 を基に、2019 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 39%、「軽快車」が 31%を占めている。

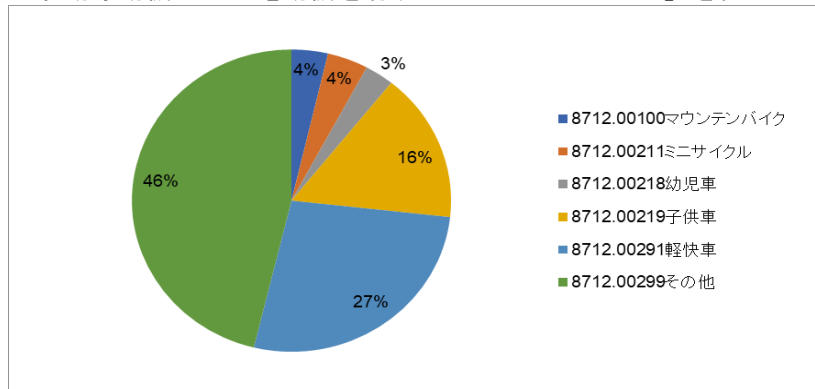
図 H 2019 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、2019 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 46%、「軽快車」が 27%を占めている。

図1 2019年1～3月の我が国自転車輸入 車種別CIF金額の割合
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は2019年1～3月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。「マウンテンバイク」「幼児車」「子供車」「軽快車」「その他」は、台数及び金額ともに減少していることが示されている一方で、「ミニサイクル」は台数及び金額ともに増加している。共用自転車向けの輸入が反映されているのかもしれない。

表12 我が国の車種別自転車輸入 2019年1～3月と2018年1～3月との比較

1～3月 車種	2019年		2018年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	42,245	776,024	42,334	797,485	-0.2%	-2.7%
8712.00211 ミニサイクル	70,550	872,998	69,422	792,437	1.6%	10.2%
8712.00218 幼児車	84,077	620,469	103,764	855,643	-19.0%	-27.5%
8712.00219 子供車	359,298	3,366,519	362,414	3,451,333	-0.9%	-2.5%
8712.00291 軽快車	573,283	5,702,659	611,071	6,269,696	-6.2%	-9.0%
8712.00299 その他	710,604	9,736,863	752,513	11,187,614	-5.6%	-13.0%
計	1,840,057	21,075,532	1,941,518	23,354,208	-5.2%	-9.8%
平均単価(円)		11,454		12,029		-4.8%

8711.60000 駆動原動機として 電動機を有する モーターサイクル	83,382	3,284,995	68,868	2,644,791	21.1%	24.2%
平均単価(円)		39,397		38,404		2.6%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-3 1～3月の輸入状況の過去15年間の推移

表13は毎年1～3月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

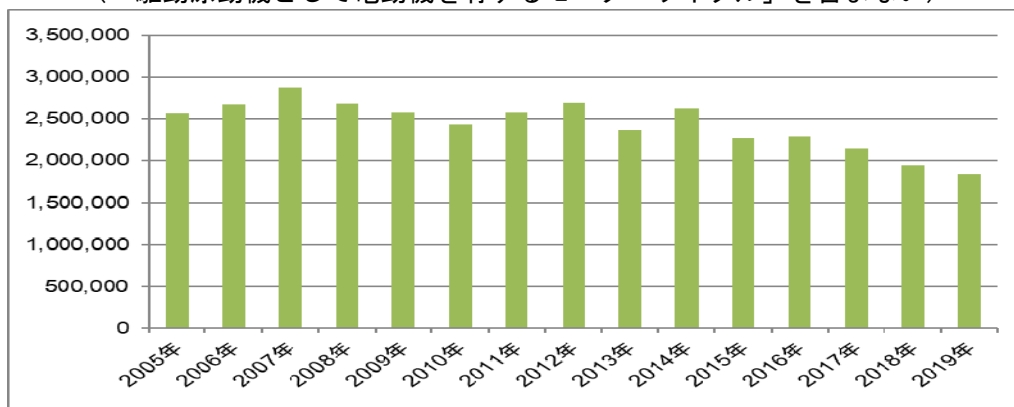
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
2019	1,840,057	21,075,532	11,454
2018	1,941,518	23,354,208	12,029
2017	2,152,214	23,631,080	10,980
2016	2,299,150	27,404,625	11,919
2015	2,277,256	30,021,500	13,183
2014	2,626,492	28,479,177	10,843
2013	2,373,370	23,483,404	9,895
2012	2,695,555	22,695,025	8,419
2011	2,580,156	20,269,931	7,856
2010	2,428,569	19,462,552	8,014
2009	2,576,224	22,705,053	8,813
2008	2,684,045	22,666,563	8,445
2007	2,877,065	23,273,025	8,089
2006	2,670,732	19,943,370	7,467
2005	2,563,991	16,336,547	6,372

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2019 年 1～3 月の総輸入台数は、過去 15 年間で最低である。一方、2019 年 1～3 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 11 番目である。平均 CIF 単価は 11,454 円で、過去 15 年間で 4 番目となっている。

表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

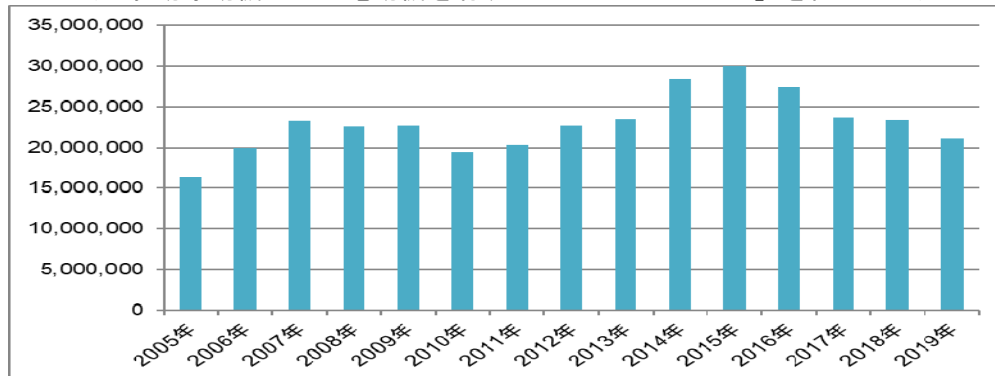
図 J 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K である。

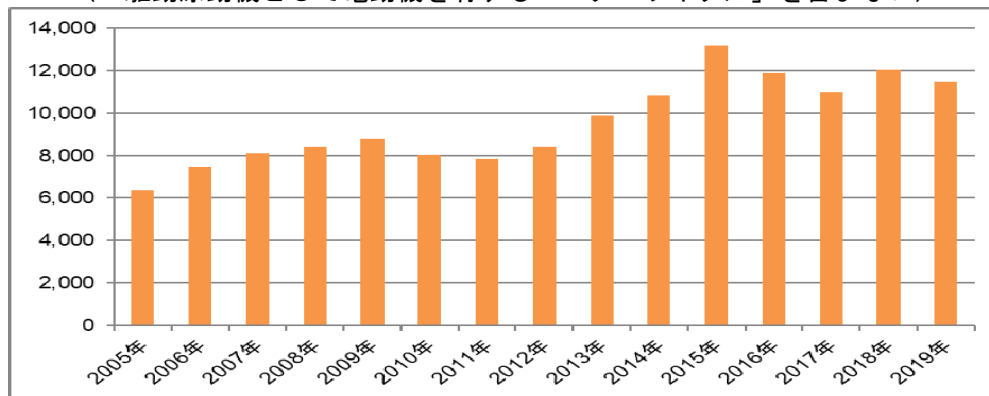
図 K 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」
を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

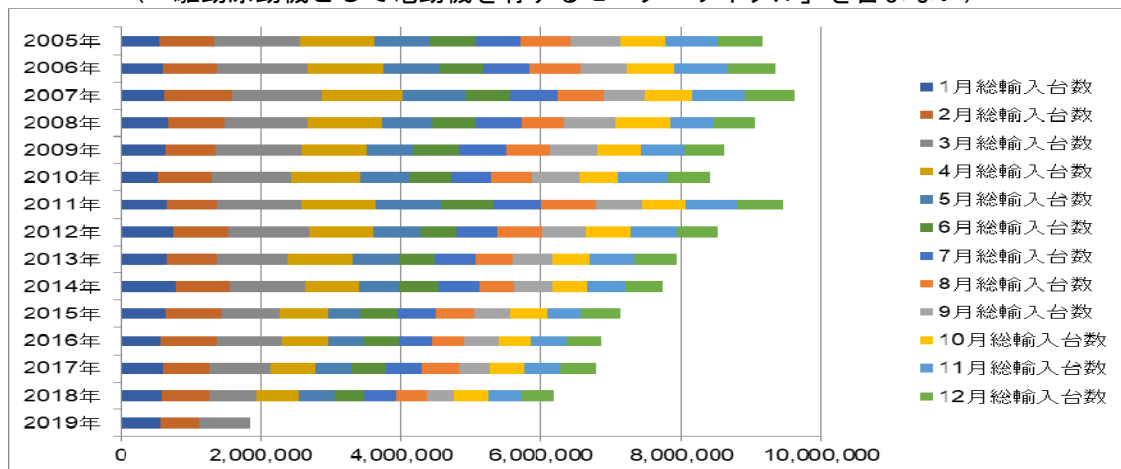
年	1月総輸入 台数	2月総輸入 台数	3月総輸入 台数	4月総輸入 台数	5月総輸入 台数	6月総輸入 台数
2019	561,860	557,809	720,388			
2018	584,582	672,121	684,815	588,526	515,094	434,024
2017	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
2016	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
2015	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
2014	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
2013	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
2012	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
2011	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
2010	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
2009	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
2008	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
2007	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
2006	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
2005	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039

年	7月総輸 入台数	8月総輸 入台数	9月総輸 入台数	10月総輸 入台数	11月総輸 入台数	12月総輸 入台数	総輸入台数
2019							1,840,057
2018	452,637	430,168	393,334	481,847	479,022	465,912	6,182,082
2017	511,094	522,474	454,877	480,920	514,237	503,346	6,777,799
2016	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
2015	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
2014	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
2013	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
2012	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
2011	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
2010	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
2009	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
2008	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
2007	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
2006	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
2005	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、毎年 1～3 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

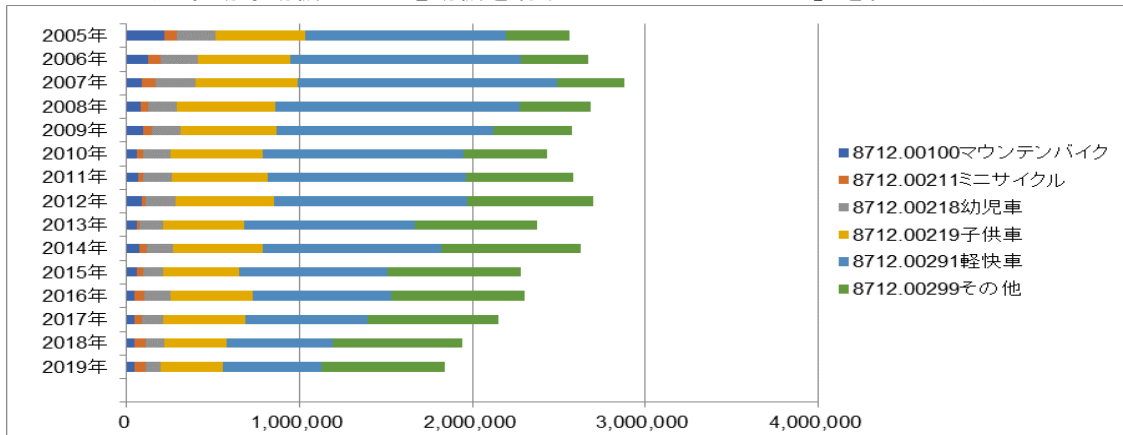
表 15 毎年 1～3 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
2019	42,245	70,550	84,077	359,298	573,283	710,604	1,840,057
2018	42,334	69,422	103,764	362,414	611,071	752,513	1,941,518
2017	41,043	48,250	123,580	471,346	709,321	758,674	2,152,214
2016	46,036	53,357	152,269	479,142	799,569	768,777	2,299,150
2015	57,459	36,331	115,495	441,698	857,838	768,435	2,277,256
2014	73,179	40,807	152,613	522,810	1,029,951	807,132	2,626,492
2013	57,955	18,262	131,559	474,305	982,149	709,140	2,373,370
2012	87,062	24,657	171,652	565,515	1,119,749	726,920	2,695,555
2011	63,603	33,548	164,291	551,849	1,150,866	615,999	2,580,156
2010	59,489	38,452	156,636	530,318	1,160,841	482,833	2,428,569
2009	97,986	50,097	165,108	551,110	1,258,515	453,408	2,576,224
2008	78,379	47,352	167,448	563,993	1,416,437	410,436	2,684,045
2007	88,125	75,520	231,083	591,808	1,503,365	387,164	2,877,065
2006	121,249	75,377	215,316	537,198	1,334,396	387,196	2,670,732
2005	219,677	72,011	219,366	518,450	1,166,989	367,498	2,563,991

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。

図 N 毎年 1～3 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

2019 年 1～3 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 16 である。

表 16 2019 年 1～3 月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合 (%)	平均 CIF 単価 (円)
中華人民共和国	1,802,684	98.0	18,876,340	89.6	10,471
台湾	33,885	1.8	1,853,444	8.8	54,698
その他	3,488	0.2	345,748	1.6	99,125
計	1,840,057	100.0	21,075,532	100.0	11,454

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の 98.0%、総 CIF 金額の 89.6% を占めている。平均 CIF 単価は 10,471 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の 1.8%、総 CIF 金額の 8.8% を占めている。平均 CIF 単価は 54,698 円である。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.8%、総 CIF 金額の 98.4% を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表 17 のようになっている。

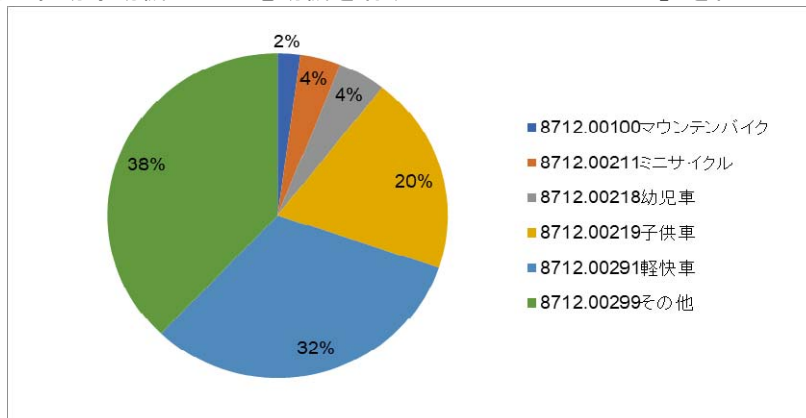
表 17 2019年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	39,290	636,246	16,194
8712.00211 ミニサイクル	68,935	815,531	11,830
8712.00218 幼児車	81,338	547,055	6,726
8712.00219 子供車	355,263	3,276,153	9,222
8712.00291 軽快車	572,868	5,687,419	9,928
8712.00299 その他	684,990	7,913,936	11,553
計	1,802,684	18,876,340	10,471

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した 2019 年 1～3 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 O である。「その他」が 38% を占め、次いで「軽快車」が 32% を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図 H と似た状態が示されている。

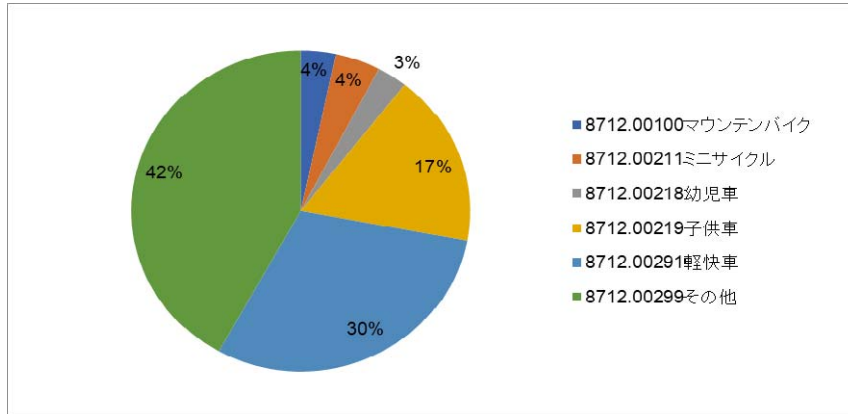
図 O 2019年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
 車種別台数割合
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 17 に示した 2019 年 1～3 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 42% を占め、次いで「軽快車」が 30% を占めている。

図 P 2019年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表18のようになっている。

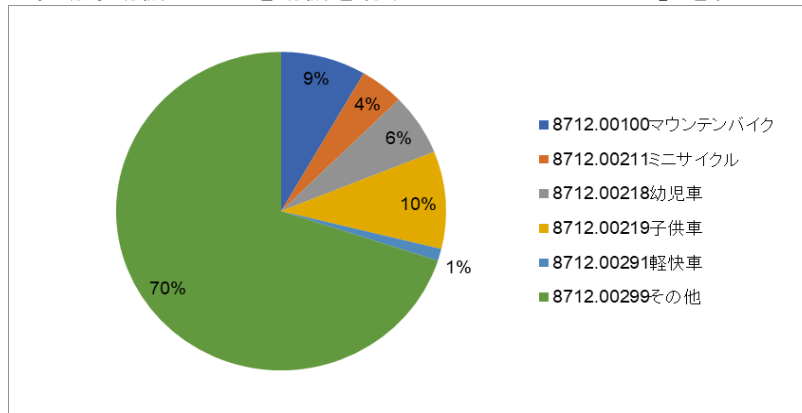
表18 2019年1～3月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	2,829	128,080	45,274
8712.00211 ミニサイクル	1,455	44,343	30,476
8712.00218 幼児車	2,130	11,674	5,481
8712.00219 子供車	3,352	60,415	18,024
8712.00291 軽快車	415	15,240	36,723
8712.00299 その他	23,704	1,593,692	67,233
計	33,885	1,853,444	54,698

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した2019年1～3月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは異なり、「その他」が70%と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が9%を占めている。一方で、「軽快車」は僅か1%を占めるにすぎない状況となっている。

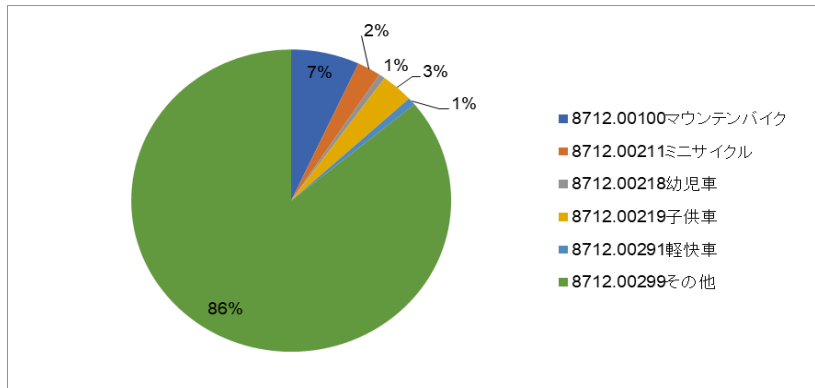
図 Q 2019年1～3月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表18に示した2019年1～3月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Rである。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が86%を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が7%を占め、「軽快車」は僅か1%である。

図 R 2019年1～3月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで、2019年1～3月の2018年1～3月と比較した、我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表19に示す。

表 19 参考 2019年1～3月の我が国の「駆動原動機として電動機を有する
モーターサイクル」の輸入 主要供給元 2018年1～3月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合(%)	CIF金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合(%)	平均CIF 単価(円)
2019.1～3 中華人民共和国	82,384	98.8	3,086,190	93.9	37,461
2018.1～3 中華人民共和国	68,542	99.5	2,571,848	97.2	37,522
変化	13,842	-0.7	514,342	-3.3	-61
2019.1～3 台湾	551	0.7	78,445	2.4	142,368
2018.1～3 台湾	238	0.3	41,521	1.6	174,458
変化	313	0.3	36,924	0.8	-32,090
2019.1～3 その他	447	0.5	120,360	3.7	269,262
2018.1～3 その他	88	0.1	31,422	1.2	357,068
変化	359	0.4	88,938	2.5	-87,806
2019.1～3 計	83,382	100.0	3,284,995	100.0	39,397
2018.1～3 計	68,868	100.0	2,644,791	100.0	38,404
変化	14,514	0.0	640,204	0.0	993

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～3月の「国内向け数量」について、過去15年間の推移を表20に示す。2019年1～3月期の国内向け数量は2,096,321台で、過去15年間で最低となった。また国内生産比率は12.2%であった。

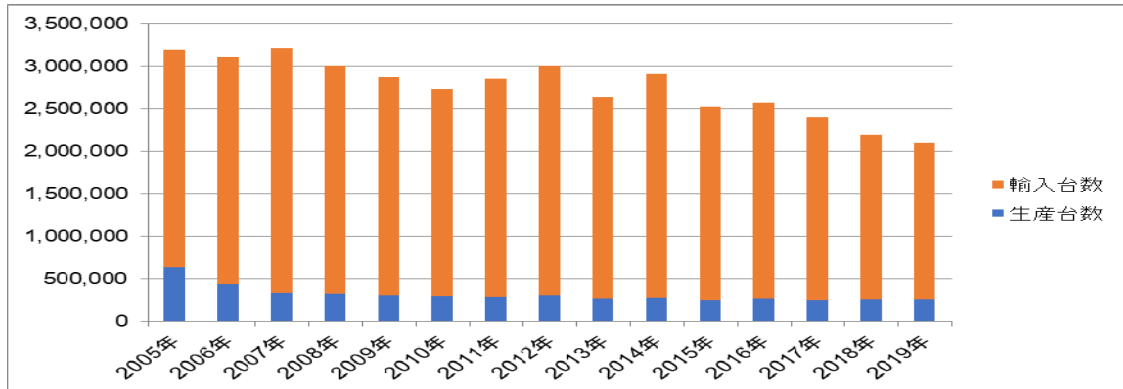
表 20 毎年1～3月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去15年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
2019	256,264	1,840,057	2,096,321	12.2
2018	257,826	1,941,518	2,199,344	11.7
2017	248,119	2,152,214	2,400,333	10.3
2016	265,325	2,299,150	2,564,475	10.3
2015	249,855	2,277,256	2,527,111	9.9
2014	278,336	2,626,492	2,904,828	9.6
2013	264,751	2,373,370	2,638,121	10.0
2012	308,426	2,695,555	3,003,981	10.3
2011	283,461	2,580,156	2,863,617	9.9
2010	299,871	2,428,569	2,728,440	11.0
2009	302,897	2,576,224	2,879,121	10.5
2008	324,543	2,684,045	3,008,588	10.8
2007	338,671	2,877,065	3,215,736	10.5
2006	435,978	2,670,732	3,106,710	14.0
2005	633,812	2,563,991	3,197,803	19.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成29年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図 S 毎年 1～3 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、
 輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 29 年以前の数値は改定値）、
 財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。2019 年 1～3 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 1 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 1 2019 年 1～3 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ガーナ	158,705	252,360	1,590
ミャンマー	150,290	211,867	1,410
カンボジア	98,505	199,890	2,029
アフガニスタン	80,677	127,090	1,575
イラク	52,280	105,536	2,019
ナイジェリア	42,171	76,370	1,811
タンザニア	32,674	60,716	1,858
UAE	32,355	56,054	1,732
フィリピン	23,987	44,825	1,869
トルコ	16,006	28,990	1,811
その他	42,124	98,334	2,334
計	729,774	1,262,032	1,729

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 2 に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 4 番目、総金額は過去 15 年間で 3 番目となっている。2019 年 1～3 月の平均 FOB 単価は 1,729 円で、過去 15 年間でやはり 3 番目となっている。

表 2 2 毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
2019	729,774	1,262,032	1,729
2018	709,484	1,180,597	1,664
2017	757,756	1,214,091	1,602
2016	777,827	1,460,745	1,878
2015	803,736	1,436,202	1,787
2014	729,651	1,075,151	1,474
2013	722,752	939,012	1,299
2012	699,859	901,501	1,288
2011	557,747	743,842	1,334
2010	555,117	745,569	1,343
2009	492,380	673,801	1,368
2008	554,131	928,910	1,676
2007	386,012	467,747	1,212
2006	304,033	323,202	1,063
2005	224,636	256,521	1,142

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上